

アオギリにたくして

時を超えて伝えたい愛がある

「神様は本当に意地悪だ」結婚式まであと三日、私の人生は一変した――。

広島で被爆したアオギリの苗を全国各地で植樹し始めた田中節子。世界的に広がりつつあるこの活動に興味を惹かれたライターの片桐千草は、取材中に知り合った節子の妹から彼女の日記を預かる。そこには、原爆により足を失った女性の苦しみと克明に綴られていた……。

実在の被爆者・沼田鈴子さんをモデルに、アオギリと彼女の奇蹟の物語を実話に基づき描いていく。絶望の淵に何度も立たされながら、やがて彼女は平和の語り部として生きていく決意をする。彼女がアオギリにたくした思いとは、……。

壮絶な人生を歩んだ女性の、過酷にして清澄な愛の軌跡。



平和の種を人々の心に蒔き続けた実話に基づく感涙の物語



「アオギリにたくして」は、広島平和記念公園の被爆アオギリの木の下でたくさんの子供たちに被爆体験を語り継いだ沼田鈴子さんをモデルとした映画です。東日本大震災が起きて4ヶ月後の2011年7月12日、被災地の人々や福島原発の事を案じながら沼田さんは永眠されました。「生きて、伝えなければ…」亡くなる一カ月前、沼田さんがおっしゃられた言葉が今も忘れられません。原爆と原爆の違いはあっても放射能の恐ろしさは同じです。私たちは今一度、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の声にしっかりと耳を傾け、日本と世界、そして地球の未来を考えていく時を迎えています。「世界中の誰にも二度と同じ苦しみをさせたくない」と願う沼田さんの思いを、日本、そして世界の人々と共に叶えていく映画となることを願っています。この映画を観てくださった方々の心に、被爆アオギリにたくされた思いを届け、平和の種がまかれていくことを祈っています。

No more Hiroshima! No more Nagasaki! No more Fukushima!

映画「アオギリにたくして」プロデューサー：中村里美

<http://aogiri-movie.net/>

- 企画・製作：中村里美 ●監督・脚本：中村柊斗 ●プロデューサー・音楽：伊藤茂利 ●原作：「アオギリにたくして」中村柊斗（徳間文庫）
- 製作・配給：ミュージズの里 ●助監督：中根克 ●撮影監督：倉本和人 ●撮影：佐久間栄一 ●照明：淡路俊之 ●録音：山口勉 ●B班撮影：曾根剛
- MA：山下裕康 ●美術：中根加代佑・与謝蕭風 ●ヘアメイク：村松直美 ●スチール：AKIRA・竹本宗文・佐倉和樹 ●フライヤーデザイン：AZ
- 衣装：東京衣装・ビッグウッド株式会社 ●イラスト・題字 吉田しん子 ■2013年 / ヴィスタサイズ ステレオ ©2013 株式会社ミュージズの里

地域上映会

と き：2014年1月26日（日）午後3時45分～（開場：午後3時00分）

と ころ：恩方市民センター（2F）八王子市西寺方町260-4

前売券：1,000円（子供・大人共同額・前売券のみ70名） *当日券はございません

問合せ：小林ひろえ後援会（電話：042-649-5500）メール：tuma@kobayashihiro.jp
（もしくは担当者： ☎/携帯 ）

※※ 誰もが涙する感動の映画です。ハンカチを持って、ぜひお越しください。 ※※